

### 3. センターから

#### アプリケーションソフトウェア講習会について

総合情報処理センター

総合情報処理センターでは平成10年10月29日から11月6日にかけて、研究用IDで利用できる各種アプリケーションソフトウェアについての講習会を開催しました。この講習会では、ソフトウェア提供元より専門の講師の方を招き、基礎から具体的な応用にいたるまで一通りの内容について解説していただきました。

今回は本学の教職員及び研究室へ配属された学生の皆さんを対象として開催し、のべ78名の方に参加していただきましたが、講習会に参加されなかった方々にもぜひセンターで利用できる研究用アプリケーションソフトウェアについて知っていただきたいと思い、講師をしていただいた方に、各アプリケーションソフトウェアについての簡単な紹介と解説をお願いしました。以降では、これを次のような順序で紹介します。

1. FUJITSU/ $\alpha$ -FLOW
2. ANCHOR/BIORESEARCH
3. AP3000 並列プログラミング
4. 会話型図形処理システム (GRAPHMAN)
5. 計算材料設計システム「MATHPHYC」
6. 非線形構造解析プログラム MARC のご紹介

総合情報処理センターでは、これら以外にも研究用に利用可能なアプリケーションソフトウェアとして、NOVA\*GKS, Mathematica, LINGO, SAS, BMDPなどを用意しています。ただし、ライセンスの関係から研究用サーバの特定のノードのみでしか動作しないものもありますので、研究用サーバにログインした後に“apmenu”というコマンドを入力して各アプリケーションの動作するノードを選択して下さい。

```
cnet0000% apmenu 
```

今回紹介したアプリケーションソフトウェアは、研究用IDのみで利用可能であり、教育用IDや学生用IDでは利用することはできません。研究用IDをまだお持ちでない方でこれらアプリケーションソフトウェアに興味を持たれた方は、ぜひ研究用IDを取得して下さい。なお、研究用IDには利用料金がかかりますので、学生の方は指導教官とよくご相談のうえでお申し込み下さい。研究用IDに関するお問い合わせは総合情報処理センター事務室までお願いします。